

支部友会だより



日本山岳会東海支部

No. 105 April 1 2025

発行 公益社団法人日本山岳会東海支部
支部友会

〒460-0014 名古屋市中区富士見町 8-8 OMC ビル

発行責任者 田中進

「春を迎えて」



カタクリの群生

支部友員のみなさま 春を迎えてどんな山行を計画していらっしゃいますか？春から夏の山行では「花を愛でる」ことを楽しみにしていらっしゃる方も多いと思います。また、秋には「紅葉」、冬には「樹氷」や「青と白のコントラスト」などその季節の山行ならではの楽しみがありますね。

辛い急登も四季折々の花や木々の色に励まされ、更には山頂からの景色を見ると疲れも吹き飛びます。この素敵な花や景色を「後からもう一度愉しもう」、「誰かに見せたいなあ」と思って、スマホのカメラに収めることは多々ありますね。

山頂からの景色に感動して写真を撮って、下山後に撮った写真を見ても、実際に目で見たスケール感がなんか伝わってこないということはありませんか？私は写真を撮るセンスがないので、画面に指が入ったり、

目的の被写体が切れていたりととんでもない写真になっていることが多々あります。そこで最近では、立派なカメラをお持ちの方が撮られた位置から撮ってみるとか、撮り方の角度や高さなどを真似ています。今回「技盗み写真」を載せてみました。

①下から空を入れて撮る。②目線を下げて広がりを持たせる。③色のコントラストを考える。

などです。

今年も「盗み技」できれいな写真をたくさん撮りたいと思っています

(支部友会委員 川崎明子)



ミツマタ

山行報告 令和6年12月～ 令和7年2月

12月7日(土) ☆

山域：恵那 山名：笠置山 (1,128m)

(往路) J R 金山 7:28 → J R 恵那 8:27 タクシー
→ 姫栗ふれあい広場登山口着 9:00

(復路) 久須見バス停 15:28 → J R 恵那駅 16:04
発 → J R 金山 17:12

コースと所要時間

姫栗ふれあい広場登山口 9:10～林道出会(登山
記録小屋) 9:58～姫栗林道出会 10:52～山頂
11:35/12:15 (ヒカリゴケ、ランチ) → 姫栗林道
出会 12:36/12:47～林道出会 13:25～姫栗ふれあ
い広場登山口 14:27～姫栗バス停 15:01～久須見
バス停 15:28 歩行時間 4時間38分

参加者(7名)

CL 磯部 隆 SL 佐橋 章嘉 芝山 美智子
岡 直人 島川 桂子 五島 健一 中野 徳子



(参加者の感想)

・中央道から見える山姿にかねてから憧れていた笠置山に登ることができ感謝です
天候は生憎で山頂は雪模様でしたが、山道は整備されておりまた、リーダーの適切なアドバイスもあり楽しく山行出来ました。(五島 健一)
・恵那山と並びどこからでもよく見えるずっと気になって登って見たかった山でした。タクシーを使ったものの、公共交通機関で行けるのも勉強になりました。予想になかった雪が降り真っ白な世界を楽しめ、一人の登山者にも会わず、雪がしんと降る音が聞こえそうな静かな山でした。帰りは空気の良いのんびりのどかな田舎道をバス停まで歩き、心が洗われました。(島川 桂子)

・天気は、予報どおりの雨天となりましたが、雨からみぞれ、そして雪へと登るにつれて変化する様子がみてとれました。そのような中、登山道は階段が8割程度で、整備もされているので分かりやすく、濡れていても歩きやすかった。眺望は、次の楽しみにとっておくことになりましたが、雪が降りしきる山頂は、しじまに包まれて雰囲気もよく、より楽しい山行となりました。また、おすそ分けいただいた「五平餅」が最高でした。

(岡 直人)



<リーダーコメント>

恵那山と対峙している、あの秀峰は何山だ？いつか登ってみたい、と昔から思っていた。驚いたことに、皆さんからも、以前から登ってみたいと思っていた、と聞いて、急に嬉しくなった。この山を選んで、とても良かったと思った。ただ、天気はあいにく？で、登るにつれて、曇りから、少雨、ミズレ、そして頂上付近には、薄く積雪があり、樹々も真っ白であった。「寒いですね？」と言ったら、「これが、いいんですよ！楽しい！」との返事。皆さんが、こんな(変な?)感覚の人達で助かった。良かった。自分と同じだ！
寒い冬の、珍道中ならぬ珍山行の、ゆったりと、満足できた一日であった。



12月8日(日) ☆

山城：新城市 山名：五葉山(464m)

(往路) 名古屋市民会館南側 6:55→東別院 IC→新東名→新城 IC→大原調整池駐車場 8:42

(復路) 駐車場 14:52→宮の湯 15:30→三ヶ日 IC
東名→名古屋市民会館南側 18:40

コースと所要時間

大原調整池駐車場 8:42～展望台 9:40～五葉山
10:30～城跡 10:53～三河湾展望台 11:43～平尾
山 11:55～富士山・浜松市展望台 12:05/12:35～
林道・調整池周回道路→駐車場 14:35

歩行時間 4時間38分

参加者(4名) CL 近藤 政仁

稲葉 華子 加藤 恵美 中野 徳子



(参加者の感想)

・行き的高速道路区間では雲が多く細かい雨が降っていたので山行中もカッパを着なければいけないかと思いましたが、てるぼうずの予報通り雨も上がりホッとしました。駐車場付近に三角点の表示があったので探すと、すぐ見つけられました。ルートに危険な所はなく、また、所々にまだお花が咲いており、お花探しも楽しませてもらえました。ドウダンツツジも背丈以上の高さがあり驚きました。展望所では伊勢湾、三重県が遠望でき、折り返し地点では浜名湖も見えて感激しました。復路は予定のルートが見つけれず明瞭なルートから戻りました。展望台で富士山が見えませんが、帰りの車中から真っ白な南アルプスの山を見ることができました。ありがとうございました。(稲葉 華子)

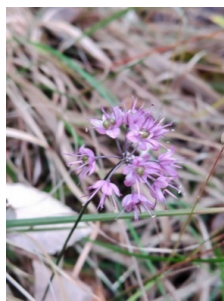
・五葉山までは、思っていたより急登だったので大変でしたが、この日は北風が強く寒かったので、急登を登るうちに体が温まりちょうど良かったです。城跡から富士山が見えるはずでしたが、残念ながら雲に隠れていて見えませんでした。三河湾展望台からは、紀伊半島も見ることができました。見晴らしが良かったので楽しく地理の勉強ができました。マツムシソウ、われもこうなどがまだ咲いていたので暖かい地域なんだな

あと実感しました。景色、草花、城跡などを見ながらの、とても楽しい山行でした。

(加藤 恵美)

・沢山の発見！体験をすることができた楽しい山行でした。1 冬なのに花が多いこと！ヤマラッキョウ(HAT-J で登った基盤石山以来でした)、ワレモコウ、(ミカワ) マツムシソウなど。

2 展望が良いこと。富士山こそ雲に隠れて見えなかったけれど、これまで登ったことのある山々がぐるり。(五井山、三河本宮山、恵那山、鞍掛山、三ツ瀬明神山、宇連山、鳳来寺山、赤石岳、聖岳、光岳、秋葉山)。3 山から海が見えるといつもテンションが上がりますが、特に渥美半島の向こうに見えるのが鳥羽だと伺って驚きました。地図を見せていただくまでは俄かには信じられませんでした。冬型の気圧配置で北風がとても冷たかったけれど、ビュービュー吹く風の音をBGMに風を避けた陽だまりのランチは冬の低山ならではの虹や雪の南アルプス遠望など、楽しみがギュッと濃縮された1日でした。(中野 徳子)



左 ヤマラッキョウ 右 ミカワマツムシ

<リーダーコメント>

今回は二十四節季「大雪」に大原調整池の周りの山々を歩き、累積標高差 1000m の体力トレーニングすると共に、富士山や奥三河の山々、渥美半島と紀伊山地の遠望を楽しんでいただこうと計画。今回は富士山が見えませんでした。渥美半島の奥に控える紀伊山地、奥三河の山々や南アル

プスも遠望でき、最後の花も低山で発見していただきました。

.....

12月15(土) ☆

山域：鈴鹿 山名：竜ヶ岳(1,099m)

コースと所要時間

金山 6:50→宇賀溪キャンプ場 8:00～ホタカ出合い 8:30～金山尾根 10:00～竜ヶ岳 10:54～遠足尾根 11:33～宇賀溪キャンプ場 14:20→入浴(あけき温泉) 15:30→金山 16:30

参加者(3名)

CL 今津 英一朗 佐藤 千景 杉浦 いずみ



(参加者の感想)

・思いがけず誘われた山行だったが、久しぶりの竜ヶ岳しかもなんと雪。寒さ以上に嬉しさであふれる。相変わらずの急登続き、行き交う人も少なめ。そんな中にも短パンとタイツしかも靴は運動用のスニーカーと見ている自分からは若さゆえなのかそれとも無謀と言うのか複雑な心境。気を取り直しどんどん進む。雪がちらほらから積もりだした山頂に向けて出発し山頂では風も穏やかだったのでリーダーに写メを撮っていただいた。風が強くなり、急ぎ下山。慌ただしく昼食を摂り長い遠足尾根を堪能した。竜ヶ岳の360度の展望を満喫できた一日だった。(佐藤 千景)

・1年ぶりの竜ヶ岳。ほぼ同時期だというのに全く別世界。今回は雪バージョンが見られて感激でした。最初はチェーンスパイクを付けておらず急登の道で転んだりしましたが、山頂で付けてからは楽々でした。とにかく寒さが厳しく何とか昼食をとりながら、この寒さの中朝までビバークする事になったら…という話になり、机上ではなく雪山の現場で想像する事でその恐ろしさをより実感しました。今回の竜ヶ岳は雪景色、雪の華、とっても綺麗でした。(杉浦 いずみ)

<リーダーコメント>

竜ヶ岳お疲れさまでした。12月第2週ということ、また寒波が来ていたため、頂上部10～30cmの積雪がありました。比較的風はありませんでしたが、頂上で昼食をゆっくりと言う状況にもなかったと思います。一応、季節的には厳冬期でした。登りはアイゼンをつけませんでした。アイゼンを付けない状態で、フラットに地に足をつくようにすれば、相当な所を登ることができます。心がけてフラットフィッシングで歩きましょう。

.....

12月21(土) ☆

山域：京都 山名：大文字山(465m)

(往路)JR 金山 7:23→米原 8:44→山科 9:37/地下鉄 9:49→蹴上 9:55 (復路)蹴上 15:22→山科 15:27→米原 16:24→名古屋 17:42→金山 17:48

コースと所要時間

蹴上 10:00～大日山 11:20～大文字山四つ辻 12:05～大文字山 12:15/12:45～大文字火床 13:15～銀閣寺 14:00～南禅寺 14:50～蹴上 15:05

歩行時間 約5時間

参加者(7名) CL 磯部 隆 SL 岡 直人

五島 健一 島川 桂子 金武 つや子

芝山 美智子 加藤 恵美



(参加者の感想)

・決行か中止か、前日までリーダーを悩ませた天気は、風もなく時々陽が出て、上着が必要ない登山日和でした。大文字山から見下ろす京都の町は基盤の目の如く整然として、また緑の中にまだ紅葉が残っていて、美しいコントラストを見せてくれていました。火床では、この部分が「大」のこの辺りなどと楽しく想像しました。紅葉のいい時期を少し過ぎて人出も減った京都の町を気持ちよく歩きました。

(芝山 美智子)

・登りは、ふかふかの落葉の上を歩きながらの山道、下山は階段の連続でした。大文字火床は初めて見ましたので貴重な体験でもありました。火床からの景色は霞んでいましたが、京都市街が一望でき素晴らしい眺めでした。下山中も所々に火床があり、小さな炭がいっぱい残っていました。この場所は、『大』の字のどの辺りかなと思ひ浮かべながらの下りでした。下山後は、哲学の道から蹴上までのルート。晩秋の京都で紅葉も終盤、哲学の道の道中にはハッとする鮮やかでとても綺麗な紅葉も残っていて、癒されました。(金武 つや子)



・天気予報では、雨が降るかもしれないような状況で寒くなるだろうと思ひ、たくさん着込んで行きましたが、風も少なく山行中は熱くなるくらいでした。大文字山からは、京都市内が一望でき、とても気分が良かったです。大文字焼の火床は、「大」の字がキレイに見えるように考えられて作られていて、すごいなと思ひました。哲学の道を歩いたり、南禅寺の境内を通ったり、観光もできる山行でした。(加藤 恵美)



<リーダーコメント>

山行参加者の皆さんの感想にもあるように、大文字山頂上から、30分程下った火床という大の字のほぼ中心にあたる場所からの京都盆地の眺めは圧巻で、

何度見ても素晴らしい。今回は、寒くてやや曇りがちだったので、またいつか、天気の良い、暖かい日に登られては、と思う。銀閣寺入口に下山して、「哲学の道」を蹴上の駅まで歩いた。全歩行時間は、約5時間ではあったが、山行自体は、今回の参加者の皆さんにとっては、ハイキング程度であり、やや物足りなく感じられたかもしれないが、名古屋から、快速を乗り継いで行くのも、たまには、いい経験だったかも知れないですね。

.....

1月12日(日) ☆ 山域：愛岐丘陵

山名：鳩吹山(314m) 大平山(291m)

(往路) 金山 8:30→名古屋高速小牧北 IC→41号名濃バイパス→真禅寺 9:20

(復路) 犬山駅西口 18:10→名古屋高速道→金山 19:00 解散

コースと所要時間

真禅寺登山口 9:30～鳩吹山 10:10～北回り分岐
東 11:00～西山休憩舎・昼食 11:30/11:50～大平山
ルート分岐 12:10～大平山 13:00～不老公園 13:40
→マイクロバス→寂光院 14:00/15:00→さらさくの湯 15:20
歩行時間 約4時間半



参加者(14名) ドライバー：杉山 雄彦

統括 L 尾上 昇 CL 田中 進 SL 磯部 隆
奥野 明美 中島 美枝 石田 猛 今津 英一朗
熊谷 美喜子 島田 逸子 杉浦 いずみ
佐藤 千景 佐藤 雅弘 神田 昌彦

(参加者の感想)

・今年もやってきた、新年鳩吹山山行。皆の思いが天に通じて午後は快晴、尾上さんを先頭に縦走路を歩いた。途中雪交じりのこともあったがそれも楽しみの一つ、遠く白山を望み冬の季節の透明感を味わうことができた。最後の大平山ルートはミラマチルート IN 来栖と言うらしいが、木曽川から犬山城と岐阜城、名古屋の摩天楼を視界に入れることもできた。いつまで登れるか皆分からな

くてもこういう機会があることが気持ちをアゲアゲにしてくれる。(佐藤 千景)



・山行数日前に雪が降り、天候に気をもみました。リスクを取る意味で、スパッツや使い捨てカイロなどザック一杯に詰め込み出発と相成りましたが、結果はいい意味で裏切ってくれ、杞憂に終わったのは幸いでした。ただ重たくて、なかなか肝心のものが取りだしにくかったです。尾上リーダーのもと、適切な隊列とペース配分で寒すぎず暑すぎずの良いコンディションで、順調でした。100m 近いアップダウンも数多くありましたが上を見すぎると折れそうになるのでひたすら安全に歩を進めることに専念しながら、所々にあるイノシシの足跡や天蚕の繭を発見したり、山頂や尾根からの大展望に感動したりしました。

(神田 昌彦)



・鳩吹山新年山行に初めて参加させて頂きました。慣れ親しんだ鳩吹山も、総勢 13 人の楽しい皆さんと登ると新鮮でとても楽しかったです。雪が残っていて、途中パラパラ降っていましたが少し肌

寒いくらいで快適な登山となりました。リーダーをはじめ、皆さん本当に元気いっぱいであっけなしの 1 日でした。魚民さんでの新年会も、皆さん 1 人ずつ自己紹介、今年の抱負を語り、親睦を深められよかったです。(杉浦いずみ)

<リーダーコメント>

真禅寺登山口から標高差 200m の整備された登山道は快適で 40 分で頂上に到着。雪を被った大日岳、鷲羽岳 更に白山連峰が望めたが、御岳山や遠く乗鞍岳などは、あいにく雲の中。西山休憩所で昼食、皆さん楽しい会話の中、大平山からの下山は犬山城と木曾川を眺めながら急な下り道を注意しゆっくり不老公園に全員到着。マイクロバスですぐ、永禄 8 年(1565)織田信長公は参詣の折り当山を清州城の鬼門鎮護の霊刹とした。犬山健康館のさらさくらの湯で身を清めたが、犬山駅西口の魚民で今年の抱負を自己紹介しながら述べ合い暴飲し、俗世界に戻ってしまった。最後はお楽しみ福引会を行い楽しい 1 時間半があったという間に過ぎた。

・・・・・・・・・・・・・・・・

1 月 13 日(月祝) ☆☆

山城：焼津アルプス 山名：満観峰(470m)

(往路) 金山市民会館南側 6:26→都市高速・

東名→花沢の里観光駐車場 8:38

(復路) 駐車場 14:15→サンライフ焼津(黒潮温泉) 14:30/15:40→金山 17:50

コースと所要時間

花沢の里観光 P8:50～ 鞍掛峠 9:45～満観峰

10:25/10:50～日本坂峠 11:50～花沢山 12:20

/12:50～駐車場 14:10 所要時間 5 時間 20 分

参加者(4 名) CL 今津 英一朗 佐橋 章嘉

高橋 弘美 島川 桂子

(参加者の感想)

・雲ひとつない快晴の日で富士山の展望は最高、花沢の里からずっと森林帯で富士山の姿はなく 1 時間半程登り、山頂に出ると突然の富士山がドーンと現れ感動的でした。山だけでなく、反対側は、駿河湾、伊豆半島、焼津方面の海の景色も太陽の光を浴びきらきらして富士山と海の大展望が楽しめました。年始に天候に恵まれ美しい富士山と光輝く駿河湾を堪能でき幸先の良い 1 年になりそうです。(佐橋章嘉)

・富士山の眺望が素晴らしいとの満観峰。高速道路から富士がみえると山頂にいったら富士がみえる確率が大だよと CL に言われ、高速道路からみえた富士に期待を膨らませて登山しました。登山口の花沢の里でピークで食べるケーキを購入し意気揚々。山頂に着くまでは焼津の町が少し見えたのみで登り一辺倒の道を登りきったところ

に待っていた富士山！雲一つかかってなく裾野までしっかりとその姿をみせてくれました。感動でした。皆でケーキを 食べ花沢山に向かいました。アップダウンが多い道でしたが、富士と駿河城跡、静岡の町、伊豆半島、駿河湾が臨め日本一の眺望と記してある「家康ベンチ」とおり山頂へ。そして激下りの道を下り林道に出駐車場に到着しました。特に危険箇所もなく雲一つない天候と良い メンバーに恵まれ、富士に感動・ありがとうの山旅でした。少し塩の味がする焼津温泉につかり帰路につきました。（高橋 弘美）

・満願峰は登りきるまで富士山の姿が見れない。だからこそ登り切ってみえた時には感動が大きい。富士山を見ながら登山口手前のカフェで買った手作りケーキを食べ最高のロケーションを堪能して花沢山へ。花沢山へはかなりのアップダウン。リーダーの絶妙なペース配分で疲労もなく歩ききれました。（島川 桂子）



・寒いだろうと思っていましたが、暖かく良い天気に恵まれ、登山道も整備されていたので、わかりやすかったです。満願峰から花沢山への道はアップダウンがあり日本坂峠を過ぎたあたりからの急勾配はキツかった。満願峰からは、富士山の眺めが最高で、駿河湾も見渡すことができ、山と海に見とれてしまいました。（加藤 恵美）

・何だか心の痛む話題から始まった新年。楽しいおしゃべりをしながら白く美しい富士山や光る広大な駿河湾眺め心が緩んだような気がします。幸先の良い山行ができ感謝します。連日大変な思いをされている方々の報道を見てついついため息がでますが自分の為 人の為今私ができることを精一杯がんばろうと思います。（島川 桂子）

＜リーダーコメント＞
風もなく、快晴の絶好の富士山観望となりました。まさに満願峰です。登りは少し暑くなり、私も温度調節（着替え）のタイミングを逃しました。寒いときは、衣類を着過ぎず体温調整したい

です。今回は、あまり地図読みをしませんでした。が、低山でも道を間違えると違う所へ下ってしまい危険です。現在把握には注意しましょう。



1月19日(日) ☆

山城：袋井・掛川市 山名：小笠山 (265m)

（往路）金山 6:50→東別院 IC→東名高速袋井 IC
→法多山駐車場 8:34（復路）法多山駐車場 15:55
→遠州和みの湯 16:10/17:25→金山 19:00

コースと所要時間

駐車場 8:47～小笠山 10:35～小笠神社 10:50
/11:30 展望台 12:50～腹摺峠 13:14～三ツ峰
13:55～法多山 14:52/15:25～駐車場 15:35
歩行時間 5時間 11分

参加者（4名） CL 近藤 政仁
SL 芝山 美智子 加藤 恵美 岡 直人



（参加者の感想）

・ちょうど1年前に、同じ山行に参加しましたが、上がる予報の雨が降り続き、予定の小笠山ロングコースは諦めて、小笠神社から山頂へのショートコースに変更になったので、今回はリベンジ山行です。上天気ではありませんが、今回は予定通りのロングコースを歩きました。事前にリーダーからあった助言通り削り落ちた崖の縁を歩く道が続き、スリル満点でしたが、リーダーの注意喚起の声やメンバーの励ましで無事完歩できて、大満足でした。下山スイーツの法多山厄除けだんごの味は格別でした。（芝山 美智子）

・小笠山まで行く道もアツプダウンがありましたが、小笠山から法多山の間は標高差 10m～20

mのアツプダウンと切り立った崖が続く道で、崖は絶壁だったので崖の下を見ないよう慎重に進みました。アツプダウンが続いたため思った以上に体力を消耗しましたが、法多山の「厄除け団子」を楽しみに頑張る事ができました。「厄除け団子」は、丁度良い甘さで元気が出ました。小笠山からの富士山は見られませんでした。掛川の街や遠州灘の景色を楽しむことができました。
(加藤 恵美)



・低山ということで少々舐めておりました。今回は、アツプダウンや切り立った崖の連続、道迷いの危険性など、スリルとサスペンスに満ちていて歩きがいがあるコースで少々バテました。
(岡 直人)

<リーダーコメント>

今回は二十四節気「大寒」の頃、天気予報は一日中「曇り一時雨」でしたが、曇り空の山行スタート。駐車場から地図読みしながら尾根まで上がり、さらにおらが道の道迷い場所を越える。小笠山を越え、小笠神社手前で小雨に降られるが、雨はココだけ。ただし、小笠山や小笠神社で富士山遠望を期待したが、残念ながら雲が厚く見えませんでした。今年最初の山行は新年早々から歩行距離約 11Kmと累計標高差 1200mを歩くトレーニングになり、夏山までにさらに脚力アップを図り、北アルプス挑戦権を取得されるように願います。また、厄除け観音の法多山尊永寺では今年一年の健康と安全登山を祈願し、厄除け団子もいただきました。

.....

1月25日(土) ☆ ☆

山城：奥三河 山名：鞍掛山 (883m)

(往路) 金山発 7:04→名古屋高速、新東名経由 新城 IC8:20→仏坂峠登山口駐車場着 8:58

(復路) 登山口駐車場発 14:18 (鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな 14:55〜16:00) 金山着 18:00

コースと所要時間

仏坂峠登山口 9:12〜三角点ポイント 11:30〜山頂 11:32/11:55〜かしやげ峠 12:50〜千枚田 13:15〜仏坂峠登山口駐車場 14:02

参加者 (5名)

CL 倉橋 智司 SL 中野 徳子 加藤 恵美
芝山 美智子 高橋 弘美



(参加者の感想)

・奥三河の山々はヒルの歓迎を受けると聞いて、中々足が向かないのですが、今回真冬の時期の山行で、もしかしたら雪の中を歩けるかと期待が膨らみましたが、残念ながら雪は無し。登りは急でしかも多くの落ち葉との格闘、山の最高点と三角点と山頂が離れた場所にあるという一風変わった山、山頂ではそそくさと食事をして、緩やかなジグザグ道をリズムカルに下り、その先には四谷の千枚田が目の前に広がり、思わず感嘆の声。

(芝山 美智子)

・当日は、北風が強い寒いと思っていましたが、登山道は樹林帯の中だったので歩いている間は寒くなく快適でした。登りのルートは急登が多く落ち葉で滑ってしまい登りづらく、急な下りもありドキドキするような場所もありました。下りのルートは、登りとは様子が違い、急な下りもなくスムーズに歩けました。登りと下りで様子の違うルートを楽しむことができ、ポカポカ陽気の中、四谷の千枚田を見る事もできました。満足な一日でした。

(加藤 恵美)



・設楽町にある日本棚田 100選に選ばれた千枚田の景観を楽しめる鞍掛山。ピンクテープ は沢山ついていましたが、よく確認しないと進行方向を間違える所もありました。1月とは思えない暖かさでしたが、やはり日陰で昼食をとると風がな

くても冷え冷えでした。下りは地図でみると急下降かと思いましたが、ジグザクで歩きやすい道でした。下ると棚田の景色を見ることができ、雪で白い時か、青々と稲がある時にまた訪れたいと思いました。メンバーの皆さんと和気あいあいに楽しんで登れ、満足の山旅でした。（高橋 弘美）

・新東名上りの長篠設楽原 PA に鞍掛山と千枚田の綺麗な写真が飾ってありずっと気になっていました。鞍掛山には 2024 年 5 月に岩古谷山から登り、下山時に生まれて初めてヒルにヤラレタので、名誉回復したいとも思っていました。新城 IC から登山口までの車窓の風景は霜がおりて寒そう。登山口も日陰で寒く入念に体操してから急登を登っていきました。仏坂峠には笑みを浮かべた仏様が数体あって歴史ある峠道でしたが、うっかりすると道迷いしそでした。当初は山頂までのピストン予定でしたが周回コースに変更されたことで、気になっていたかしやげ峠の自然災害伝承碑は山崩遭難供養塔であることが確認できました。明治 37 年 7 月の土石流で棚田も流失したと地理院の h p に記載がありました。四谷千枚田は日当たりが良く、気持ちの良いところでしたが、「地すべり地帯の跡で、一枚一枚が農民の汗と涙の結晶によりつくられ」という看板の説明に深く納得しました。帰りの車中で歴史のレクチャーも受けることができ、山と歴史を堪能した 1 日となりました。（中野 徳子）



<リーダーコメント>

この山はコースに拠って、全く違った印象になる。全体的に樹林帯の登山道の為、771mからの下りの滑りやすさ、888mからの急な下り等の理由から今回、当初の往復のピストンから周回コースとした。登りの急登の印象から、下りは初めはジグザグで急な箇所も有るものの、大半は緩い下りで、思った以上に早く下れる（駐車場迄の舗装道を歩く距離が長くなるので分岐の見落としに注意が必要）。冬季の奥三河の山行で雪の心配もされたが、例年よりも暖かい日が続いた事で、全

く積雪も無かったが、樹林帯の登山道の為、休憩時は直ぐに体が冷えてくる為、改めてレイヤリングの重要性を感じた。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

2月1・2日(土日) ☆☆山城：北アルプス 山名：乗鞍高原・上高地 (1,500m)

(往路)日本特殊陶業市民会館 7:25→中央道駒ヶ岳 SA9:06→松本 IC10:03→道の駅風穴の里 10:36→乗鞍高原/仲之家・蕎麦屋 11:07/11:55→乗鞍観光センター12:00→休暇村乗鞍高原 12:35→乗鞍観光センター14:55→ペンションしるふれい 15:30 (復路) 釜トンネル出口 14:40→ペンションしるふれい 15:00→道の駅風穴の里 15:25→松本 IC16:05→駒ヶ根 SA16:50→金山 19:00

コースと所要時

1 日目：休暇村乗鞍高原 12:45～ 牛留池 12:57～善五郎の滝 13:45～善五郎の滝見晴台 14:22～乗鞍観光センター14:55 所要時間2時間10分
2 日目：ペンション 8:10～ 釜トンネル入口 8:30～釜トンネル出口 9:08～上高地トンネル出口 9:18～スノーシュー装着 9:35～大正池右岸 10:25～河童橋 11:40～バスターミナル 12:00/12:35→釜トンネル出口 14:40

所要時間 6 時間 02 分

参加者 (10 名)

CL金谷 正起 SL/会計:奥野 明美 芝山 美智子
古野 敏彦 鬼頭 功 佐藤 恵美 服部 郁子
岡 直人 杉浦 尚美 椿 利枝子



(参加者の感想)

・乗鞍も上高地も雪が多く、ふあふあの新雪の中、スノーシューを堪能することができた。上高地では、コース予定の場所に雪が多くラッセルすることになった。奥野さんが実践して、そのあとの斜面で自分でもラッ

セルを実践したが、思ったように動けないし、難しかった。金谷さんには2023年2月の大正池近くの雪崩の現場を確認するよと声をかけられ、圧雪された道路も地形によっては雪崩が起こることを知った。このような斜面のすぐ近くを歩く山行では、雪が多い場合、その日の天候や気温によっては雪崩が起こる。事故の現場の実際の地形と地図を見直し、自分達も巻き込まれるかもしれないと注意しながら歩かなければいけないと思った。(杉浦 尚美)



・初日、晴天に恵まれた乗鞍での、初めてのスノーシューは、思ったより軽く、雪上歩行も快適。翌日は上高地へ向かい、新雪の中をラッセルして童心に帰り、雪と戯れました。静寂の梓川や雪化粧した景色に心癒され、雲間から水墨画のように見えた焼岳や穂高岳の美しさに感動！ご一緒した皆様の温かなお心遣いに感謝です。(服部 郁子)

・スノーシュー及び冬季閉鎖中の上高地と初めて尽くしの山行でしたが、雄大な雪原の中を歩くことができ最高の気分でした。風が無かったこともあり、歩行中は寒くもなく、ウェア・手袋などのレイアリングも見直しが必要でした。また、積雪が多いこともあり、スノーシューでの歩行には、ある程度体力も必要と感じました。山行以外にも、ペンションの食事美味しく、温泉も満喫し、来年も参加したいと思う極上の二日間でした。(岡 直人)

・スノーシュー山行が未経験の私には、今回の山行は贅沢三昧でした。結氷した牛留池の散策、氷瀑化した善五郎の滝は圧巻で、その後のスノーシューを堪能しながらのラッセルで、雪山に心を奪われました。厳冬の乗鞍岳に酔いしれた夜は、美味しい食事と温泉&金谷リーダーの昔話(これが登山初級者の私には最高のご馳走)翌日は、ソロで歩いたらお化けと遭遇しそう釜トンネルを通過し、大正池では微かに穂高連峰を見ることができました。(鬼頭 功)

<リーダーコメント>

冬は白銀の雪山で遊ぶのが一番楽しい。乗鞍高原は天候にも恵まれ雪も景色も良く簡単なスノーシュー歩行説明で皆さん順調に歩く事が出来た。善五郎の滝では過去初めての人ばかり、コース全体にも沢山の人が入っていた。コースの再考必要かも。上高地の梓川右岸は1m以上の新雪に恵まれラッセルの経験は雪山登山にも応用出来る為貴重な経験となり、心配したスノーシュー踏みの転倒も無く体力もあり全て合格でした。今後自信を持って雪山にチャレンジして下さい。

.....
2月2日(日) ☆☆ 山域：鈴鹿山脈

山名：青岳(1,084m) 国見岳(1,180m)

(往路) 名古屋 7:00→名古屋高速・新名神菰野 8:00→カモシカ橋駐車場 8:10

(復路) 駐車場 17:17→新名神・名古屋高速 18:20

コースと所要時間

カモシカ橋前駐車場 8:10～藤内小屋 9:10/9:30～三岳寺跡 9:50～アイゼン装着 10:47～ヤシオ尾根分岐 11:14～青岳 12:07/12:28 昼食～国見岳 13:00～国見峠 13:38～裏道 5 合目アイゼン外し～藤内小屋・休憩 15:17/16:20～駐車場 17:17

歩行時間 5 時間 30 分

参加者 (3 名)

CL 田中 進 竹本 美香 中野 徳子



(参加者の感想)

・三岳寺迄積雪はなく、小雨や曇りの視界の悪い中突然の積雪と思ったらどんどん雪が深くなりあたり一面の白銀世界でした。踏み跡もなく、登山道も分からない、一足乗せるとズボッと沈み込む、不安や怖さを感じました。経験豊富なリーダー、中野さんの正解な地図読みのおかげで国見岳までたどり着く事ができ、裏登山道には登山者の姿がありホッとしました。藤内

小屋でのティータイムありがとうございました。長時間のアイゼン歩行、雪山の怖さ、素晴らしい景色や、いろいろな体験をする事ができました。（竹本 美香）



・機動力を生かした3人だけの山行となりました。藤内小屋から国見岳までは誰にも会わず、新雪を時にズボリながら前進。アイスクライマーの声を聞きながら裏道を下って藤内小屋で楽しいティータイムのコーヒーとお菓子が、お腹にも心にも込みました。雪の鈴鹿は冬山体験(国見尾根)と支部友(裏道)と今回で3回目。今度は泊まってゆっくりお酒を飲みたいなあとしみじみ思いました。（中野 徳子）



<リーダーコメント>

標高600メートルの藤内小屋主人に1週間前、積雪状態を問い合わせたが1月中は雪無し小屋も水不足の状態だった。当日雨予報で同行者から山行の確認が入ったが、山上は雪になると確信して決行。登山口から三岳寺迄予想通り積雪ゼロだった。しかし前日夜の降雪で見上げる山上の樹木は雪化粧が見事。標高900mあたり歩行1時間過ぎてアイゼン装着。ヤシオ尾根には思った以上の積雪で一面銀世界だった。青岳に予定通り12時着、ここまで他の登山者に合わず、やっと一人に会え3人での写真を撮ってもらえた。昼食は立ったまま済ませ、国見岳目指して20～30cmの重たい雪中ラッセル、吹き溜まりや登山道から外れると足が膝上まで埋まり疲れる雪中

歩行が続いた。国見峠の分岐点では裏道からかなりの御在所頂上目指す登山客が登ってきた。下りの裏道を下山1時間ほどで雪が少なくなりアイゼンを外し、軽くなった足で藤内小屋に到着、暖かいコーヒーで疲れが吹っ飛んだ。皆さん楽しかったアイゼン歩行登山でしたか。

2月9日(日) ☆

山域：鈴鹿山脈 山名：入道ヶ岳(906m)

(往路) 市民会館 6:53→東別院 IC・鈴鹿 IC→登山者用第3駐車場 7:45

(復路) 駐車場 14:13→市民会館 16:00

コースと所要時間

駐車場 8:30～林道終点 8:53～二本松尾根登山口 9:02～分岐 11:01～668m地点引き返し 11:33～二本松避難小屋 11:45 /12:11～二本松尾根登山口 13:14～第3駐車場 13:58

所用時間：5時間28分

参加者(4名) CL 今津 英一郎

杉浦 いずみ 金武 つや子 藤川 慶子



(参加者の感想)

・雪の影響で高速道路の交通状況が不明の為、前日までリーダーを悩ませました。当日、天気も良く入道ヶ岳に登ることになりました。鈴鹿に向かう頃には雪景色の高速道路に変わり現地の積雪を想像しながらの会話になりました。駐車場に到着した時には、積雪が20cm近くありびっくりしました。二本松尾根登山口から出発して、上に登るほど深い所では50cm～60cm以上あったかと思われました。こんなに深い雪の中、アイゼンを装着して歩くのは初めてでしたので、リーダーの足跡を踏みしめながら慎重に登りました。足元ばかり見ながら回りの景色も目に入らないような私でした。慎重に歩いているつもりでしたが、途中2回スリップ転倒し皆様に心配をお掛けした私です。怪我もなく無事に下山できホッと致しました。頂上までは時間の関係上登れませんでした。自然を満喫し楽しい会話をしながら

の登山、アイゼン歩行、スムーズな装着も十分にでき自信が付きました。(金武 つや子)
＜リーダーコメント＞

近年珍しいくらいの雪の量でした。まず、駐車場へ入ったことはよいが、スタックで一波乱でした。四輪駆動車の他登山者に助けてもらいました。二本松尾根登山口から歩き出すと、凄い雪、おまけに途中トレースが無くなる事態でした。後ろから来たカップルを先へ行かせて、後から追っかける形になりましたが、追いつかず。この時点で頂上はあきらめました。今回は、大雪の場合の心構えだけの登山となりました。しっかり準備して登頂ができるようにしたいです。

2月16日(日) ☆☆

山城：豊橋 山名：神石山(325m) 嵩山(170m)
(交通手段) JR新所原駅 集合 9:00 名古屋→二川駅→新所原駅 (復路) 二川駅→豊橋駅
コースと所要時間

新所原駅(8:40)～嵩山(すやま) 9:45～仏岩 10:20
～神石山 11:30/12:10～船形山城跡 12:40～座談山 13:05～二川宿 14:30/15:30～JR 東海道線二川駅 15:50～豊橋駅解散 15:58

参加者(5名) CL 近藤 政仁 島田 逸子
竹本 美香 島川 恵子 佐藤 千景



(参加者の感想)

・メンバーの心がけがよいせいか、心配した雨も朝方上がり寒さもなく過ごしやすいい日となりました。豊橋駅で見かけて買った豊川の稲荷寿司を神石山山頂でのお昼ごはん。時々現れる急登に疲れた体にちょうどよい味付けでした。二川宿ではちょうどひなまつりのイベント開催中、下山後も楽しめました。(島川 桂子)
・電車旅を彷彿させる一日。天気予報は朝には雨はあがるが、曇りの多い晴れという分かりづらい空模様。しかし、思いもよらず安定した良い天気歩行時はむしろ暑く、衣服の調整に忙しい。富士山の姿はスッキリとは言わないまでも肉眼で確認すること

ができた。ほどよいアップダウンもあった。今年の冬は寒さが身に滲みるが、今日は暖かさを有難く思う山行だった。(佐藤 千景)



・湖西連峰は幾つもの山が連なっていて、自分のペースに合わせて、歩行距離やルート選びも多様に計画する事ができそうです。この日も若者から年配者まで沢山の登山者で賑わっていました。登山口や標識のない道、分岐も多く、間違えてしまうと全然違う場所に出てしまうため、電車で行くのが無難だと思いました。登山後のお楽しみは、東海道の二川宿で温かいぜんざいで一服し、ひな祭りを楽しみました。(竹本 美香)



＜リーダーコメント＞

今回は新型コロナ下でも唯一実施できた電車移動による山行で計画。しかし、2025年2回目の寒波直前で雲が厚い。富士山遠望は嵩山や仏岩、ラクダ岩で辛うじて眺める。豊橋駅で駅弁「壺屋のいなりずし」を買われる方がみえ、私も購入して神石山にて故郷の味を皆に堪能してもらいました。

また、二川宿ではひな祭り会場を見学して楽しんでもらいました。登山の単調なトレーニングだけでなく、歴史や文化に触れられましたか？電車移動のため思いつきで「豊橋で反省会」を計画しましたが、反省会を行えず、残念無念！

令和7年7月～9月の山行計画です！

＜FAX かメール・携帯はSMS で山行リーダー
にお申込み下さい。＞

＜夏山＞申し込み 夏山の誘い

4月8日（火）出席者は先行申し込み受付

- ・募集開始は山行日の3ヶ月前（午前6時）から、山行申し込みは月に2山行までとします。
- ・山行日・山名・会員番号・氏名・住所・電話（携帯電話）・生年月日・血液型・加入保険名
- ・緊急連絡先（その関係）

☆山行グレード

- ☆ 1日の累計標高差（登り）600m以内、
歩行時間4時間程度の山
- ☆☆ 1日の累計標高差（登り）1,200m以内、
歩行時間6時間程度の山
- ☆☆☆ 1日の累計標高差（登り）1,200m超過、
歩行時間6時間超過の山

リーダー連絡先

尾上 昇	onoe@onoe.co.jp	090-1741-4926
金谷 正起	kanaya.masaki@rouge.plala.or.jp	090-9931-3600
榊 将美	m.sakaki@minds-consulting.jp	090-7237-4410
田中 進	t-susumu@peace.ocn.ne.jp	090-9191-8666
磯部 隆	takass@yk.commufa.jp	090-9180-7245
高松 信治	takama2nobi3@yk.commufa.jp	090-3156-5268
今津 英一朗	imazu.eitirou@maroon.plala.or.jp	090-2616-7549
村瀬 恭平	hoshizakari@docomo.ne.jp	090-4186-9876
近藤 政仁	vft55ud55@gmail.com	090-2183-8125
倉橋 智司	ilyt6by8@qc.commufa.jp	090-8673-7180
奥野 明美	tac-okuno@mbi.nifty.com	090-9923-4292
池戸 美恵	noboruonna@icloud.com	090-1294-0415
川崎 禎明	y.kawa715@gmail.com	090-2131-7695
林 康太郎	koutaropippi@gmail.com	090-2949-0544

＜夏山＞7月12・13日（土・日）☆☆☆

山域：中央アルプス 山名：宝剣岳（2,931m）・三ノ沢岳（2,728m）

1日目：千畳敷～浄土乗越～宝剣山荘（泊）
2日目：宝剣山荘～宝剣岳～三ノ沢岳～極楽平～千畳敷

歩行時間：1日目3時間 2日目7時間40分

集合：日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前6:30 交通：自家用車・バス・ロープウェイ

参加費：約25,000円（実費精算）

募集：4名

リーダー：池戸 美恵 雨天中止、又は計画変更
ポイント：1日目時間が有れば木曽駒ヶ岳までピストン。千畳敷カールの風景や高山植物を楽しむ。岩の殿堂宝剣岳と花の名山、三ノ沢岳に登る。

＜夏山＞7月18・19日（金・土）☆☆

山域：奥越 山名：白山（2,702m）

1日目：市ノ瀬ビジターセンター・バス～別当出合～中飯場～甚之助避難小屋～室堂（泊）

2日目：室堂～山頂（御前峰）～室堂～甚之助避難小屋～中飯場～別当出合～バス・市ノ瀬ビジターセンター

歩行時間：1日目約5時間 2日目約6時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前6:30 交通手段：マイカー

参加費：約20,000円（実費精算）

募集：5名

リーダー：倉橋 智司 雨天中止

ポイント：日本三霊山の一つ。高山植物と満点の星空を満喫。室堂泊で2日目は頂上（御前峰）でご来光。

＜夏山＞7月26・27日（土・日）☆☆

山域：北アルプス 山名：唐松岳（2,696m）

八方池山荘～八方山～八方池～扇雪溪～丸山ケルン～唐松山荘 往復 唐松岳往復有り

歩行時間：6時間30分

集合：小牧市役所駐車場

時間：午前5:00 交通手段：マイカー

参加費：約25,000円（実費精算）

募集：3名

リーダー：村瀬 恭平

ポイント：白馬三山、五竜岳、劔岳・立山を眺める

＜夏山＞8月1・2日（金・土）☆☆☆

山域：木曽駒 山名：木曽駒ヶ岳（2,956m）・宝剣岳（2,931m）

1 日目：上松(タクシー)～登山口～金懸小屋
～玉乃窪山荘(泊)
2 日目：玉乃窪山荘～木曾駒ヶ岳～宝剣岳～伊那
前岳～北御所登山口～菅ノ台バスセンター
歩行時間：1 日目 8 時間 2 日目 8 時間半
集合：JR 名古屋駅プラットフォーム
時間：午前 6:45 交通手段：公共交通機関
参加費：約 25,000 円 (実費精算)
募集：5 名
リーダー：磯部 隆 雨天：中止
ポイント：ロープウェイを使わないでの木曾駒、宝剣
山行。登りは、JR 上松からのクラシックルート。
エスケープルートは、ロープウェイ

<夏山>8 月 3～5 日(日～火) ☆☆

山域：立山 山名：立山三山縦走 雄山(3,003m)
室堂～立山室堂山荘～ノ越山荘～立山(雄山)
～立山(大汝山)～立山(富士ノ折立)～真砂岳
～別山～御剣前小屋～雷鳥沢野営場～室堂
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前 6:30 交通手段：マイカー
参加費：36,000 円(実費精算) 募集：3 名
リーダー：村瀬 恭平
ポイント：豊富な残雪と斜面を彩る高山植物を堪能

<夏山>8 月 22～24 日(金～日) ☆☆☆

山域：南アルプス 山名：仙丈ヶ岳(3,033m)
リーダー：高松 信治 本人都合により中止

<夏山>8 月 30・31 日(土・日) ☆

山域：北アルプス 山名：乗鞍(3,026m)・
五色ヶ原

1 日目：畳平～肩ノ小屋～乗鞍岳～肩ノ小屋～富
士見岳～畳平 2 日目：出合い小屋～雌池～日
雇声滝～籠尾清水～ワサビ平湿原～岩魚見小屋
～シラベ沢口～シラビソ小屋～澄池～濁池～雄
池～八汐峠～布引滝～出合い小屋
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路
時間：午前 6:30 参加費：33,000 円
交通：レンタカー 募集：7 名
リーダー：林康太郎 雨天：決行
ポイント：お手軽に 3,000m 峰 温泉 麓の手つかず
の自然をガイド登山で堪能

<夏山>9 月 6～8 日(土～月) ☆☆

山域：北アルプス 山名：五竜岳(2,814m)
1 日目：信州健康ランド泊り
2 日目：テレキャビン遠見駅～アルプス平駅～地蔵
の頭～大遠見山～西遠見山～白岳～五竜山荘
3 日目：五竜山荘～五竜岳～白岳～西遠見山～小遠

見山～地蔵の頭～テレキャビン平駅～遠見駅
歩行時間：2 日目 6 時間 3 日目 6 時間

集合：日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午後 4:50 交通：マイカー

募集：3 名 参加費：約 30,000 円

リーダー：近藤 政仁 雨天：中止

ポイント：後立山連峰を望む岩稜の尾根を歩く。西遠
見山から白岳は鎖場の痩せ尾根通過。鎖場の三点支
持、落石防御のためヘルメット要

<夏山>9 月 13・14 日(土・日) ☆☆

山域：南アルプス前衛・奥秩父前衛

山名：日向山(1660m)・茅ヶ岳(1704m)

1 日目：尾白川溪谷 P～矢立石登山口～日向山～
矢立石登山口～尾白川溪谷 P

2 日目：深田記念公園 P～茅ヶ岳～深田公園 P

行動時間：1 日目 7 時間、2 日目 5 時間 10 分

集合：ジャパンレンタカー名古屋駅前北店

時間：午前 6:30 交通手段：レンタカー

参加費：20,000 円(夕食代別)

リーダー：川崎 禎明 募集：4 名

ポイント：一面に広がる砂浜ビーチと 360 度のパノ
ラマを楽しむ

9 月 21・22 日(日・月) ☆☆募集開始：6 月 21 日

山域：西頸城山地 山名：雨飾山(1963m)

1 日目：鎌池駐車場～鎌池一周～鎌池駐車場

2 日目：雨飾高原登山口～荒菅沢出合～笹平～薬師
尾根分岐～雨飾山 往復

歩行時間：7 時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前 7:00

参加費：28,000 円(実費精算) 募集人員：3 名

リーダー：村瀬 恭平 雨天中止

ポイント：女神に出会える山！「雨飾山」

9 月 27 日(土) ☆ 募集開始：6 月 27 日

山域：三河高原 山名：物見山

ルート 海上の森～五叉路～物見山～赤猿峠～日

本山岳会土地～海上の森

歩行時間：5 時間

集合：名古屋市営地下鉄『東山公園』3 番出口

時間：午前 7:30

参加費：2,000 円 募集人員：8 名

リーダー：金谷 正起 雨天中止

ポイント：山を楽しむための地図読みの基礎を猿投山
山麓の道無き道を歩きながら学びます。

2025 年に入会した支部友員対象です。日本山岳会
の活動についても説明します。

第 11 回夏山フェスタのお知らせ

中部地区最大級の山岳関連総合イベント

2025 年 5 月 17 日(土)18 日(日)

ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

7 階・8 階 展示場

- ①夏山フェスタに登山用品メーカーや自治体等が出展。
- ②山小屋相談コーナーが充実 中部地区の有名小屋が集結。
- ③登山や山岳写真の相談コーナー開設。
- ④有名登山家のセミナートークショー実施。
- ⑤JAC 東海支部・支部友会コーナー開設。
☆ 支部員が新入会員募集します。



（過去の会場風景）

思い出の話題

1972 年札幌冬期オリンピック・ノーマルヒルジャンプ競技！

ヨーロッパ勢には勝てないと言われていた日本人が、金、銀、銅メダルを独占した日の丸飛行隊のニュースを鮮明に覚えている。半世紀前の事で、金メダル獲得の笠谷幸生が昨年 80 歳で病亡した。

私と大学の同学年で国内では無敵で活躍していた。ノーマルヒルジャンプ競技場は宮の森シャンツェ、少し離れた場所のラージヒル競技用の大倉山シャンツェでは国際大会が多く開催され、高梨沙羅選手の活躍や小林陸佑選手の名勝負に心を踊らされる。

此处にはオリンピックミュージアムが有り、冬季オリンピックの歴史と懐かしの写真や記念の競技道具を見学出来る。会場内に選手の視点で競技を体感できるアトラクションのジャンプ・シュミレーターが有り私は 4 回跳んで 95m までの飛距離であった。

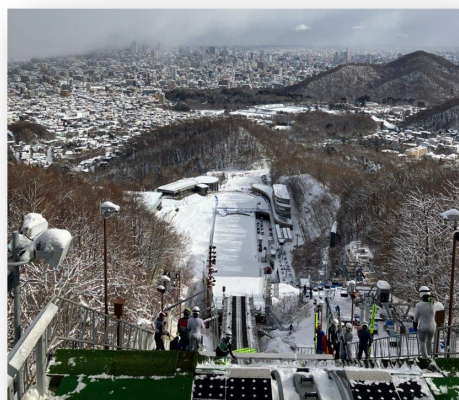


（金・笠谷 銀・金野 銅・青地）

冬季大会は夏季大会から遅れる事 28 年、第 1 回 1924 年フランス・シャモニー、第 7 回イタリア・コルチナダンペットで初のスキー回転競技で銀メダルの猪谷千春、第 11 回大会が札幌、第 18 回は長野、そして来年イタリア・ミラノ・コルチナダンペットで 25 回目の冬季大会が開催される。

大倉山シャンツェは展望台にリフトで上れ、練習風景を見学出来た。札幌のビル街を見下し飛ぶジャンパーにとっては最高の舞台であろう。

（今年 1 月 大倉山シャンツェ 撮影田中）



支部友ミーティング開催のお知らせ

「予定」第 69 回 6 月 10 日 (火)

会場：東海支部ルーム 19:00～20:30

テーマ：「ヨーロッパアルプスの魅力」

～登山と観光とグルメ～

講師：村中 征也氏 (日本山岳会東海支部員)

1939 年伊勢市に生まれる。東海銀行に入社、同時に同行山岳部で国内を中心に趣味のカメラを抱えての山行が主であった。50 代半ばからヨーロッパアルプスに目を向け、モンブランやマッターホルンなど 22 座を 1997 年から 2008 年の間に登りまくる。登山から観光そしてグルメまで、アルプスを知り尽くした男、村中さんのお話を伺えば誰しもが思わずアルプスの旅に出掛けたいと思うこと受負いです。乞うご期待!!

今回、貴重な登山のお話しを中心に他の多彩な趣味のお話しをお願いした。

「予定」第 70 回 8 月 12 日 (火)

会場：東海支部ルーム 19:00～20:30

テーマ：「パソコンを利用した地形図の作成」

講師：鈴木 慎吾氏 (日本山岳会東海支部員)

カシミール 3D のフリーソフトで地形図を作成する方法をプロジェクターで講義。作成した地図を PDF ファイルとして保存「CubePDF」の組み込みと、更に地図上の色々な場所へ文字を入力、登山道を書き入れたり出来る「Xchange Viewer」も説明します。(事前にテキスト配布)



(マッターホルン頂上)



* 支部友会員数 *

令和 7 年 2 月末

入会者

現在 68 名

* 編集後記 *

今年の夏山は 6 月末から 9 月中旬迄の 9 山行を山行リーダーが計画した。

昨年は異常な台風が発生しその影響で中止が多く、支部友会員の皆さんには期待外れとなり残念だった。

本年は計画したすべての山行が決行されますよう天候にお祈りしよう。

支部友会事務所連絡先 〒460-0014 名古屋市中区富士見町 8-8 OMC ビル B-1 東海支部

<http://jactokai.sakura.ne.jp/shibuhp/index.php>

編集責任者 田中進 090-9191-8666